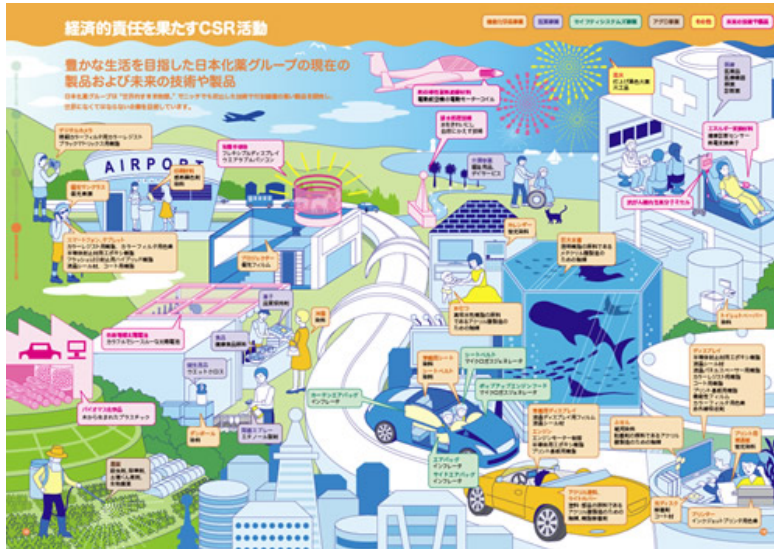


■ 経済的責任を果たす CSR 活動

豊かな生活を目指した日本化薬グループの現在の製品および未来の技術や製品

日本化薬グループは "世界的すきま発想。" でニッチでも突出した技術で付加価値の高い製品を開発し、世界になくてはならない企業を目指しています。



▶ イラスト拡大 PDF

日本化薬グループの事業

日本化薬グループの主となる4つの事業をクローズアップし、社会に貢献する技術を活かした開発製品などをご紹介します。

- 機能化学品事業
- 医薬事業
- セーフティシステムズ事業
- アグロ事業
- 研究開発

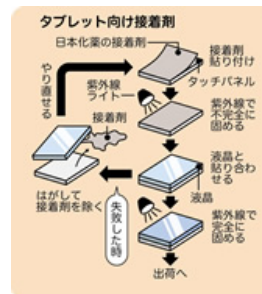
機能化学品事業

■ タッチパネル・液晶の貼り合せ技術「KSPシリーズ」の開発

日本化薬はタブレット(多機能携帯端末)のタッチパネルと液晶パネルを貼り合わせる工程で、製品の歩留まり※1を向上させた無溶媒系のアクリル系接着剤「KSPシリーズ」を開発しました。

「KSPシリーズ」は紫外線を当てると固まるアクリル系接着剤です。タッチパネル側に「KSPシリーズ」を薄く塗布し紫外線を短時間当てて仮硬化後貼り合わせることで、気泡やホコリ等の異物混入が発生した場合にタッチパネルと液晶パネルを再生できるように剥がして貼り直すことができ、上手く貼れたものだけに紫外線を当て完全に固めます。

これにより同工程での歩留りを従来比で約3割向上※2させ、不良品廃棄部材を大幅に減らし省資源化に貢献できます。無溶媒系接着剤は環境と人にやさしい製品です。



▶ 機能化学品事業

※1【歩留り】原料(素材)の投入量から期待される生産量に対して、実際に得られた製品生産数(量)比率。

※2【従来比で約3割向上】社内比較。

医薬事業

日本化薬は、がん治療や関節リウマチ治療で重要な役割を果たしている医薬品のバイオシミラーを最優先課題として早期の事業化を実現することにより、患者様やそのご家族、医療関係者の皆さまに一層貢献することを目指していきます。

バイオシミラーを幅広く提供することで、「いつでも、どこでも、誰でも」より良い医療、質の高い医療を等しく受けられる社会を実現したいと考えています。

また、2010年に第3の柱として進出を果たしたIVR※1(Interventional Radiology)分野については、13年度、3製材をラインアップに加えました。がん領域を中心に患者様の身体的負担が少ないIVR治療（低侵襲治療）の提供によって社会に貢献していきます。

▶ 医薬事業

※1【IVR】 エックス線透視や超音波像、CTを見ながら体内に細い管（カテーテルや針）を入れて病気を治す治療法です。



日本化薬 医療関係者向け情報サイト「MINK Web」

セイフティシステムズ事業

NCAP（安全基準の評価）の中での安全部品事業

自動車の安全技術は年々飛躍的な進歩を遂げており、近年ではエコ性能に加えて安全性能は自動車を購入する際の選定を動機付ける大きなポイントとなっています。

自動車の安全技術は、事故を回避するための予防安全技術と、事故が発生した際の被害を軽減する衝突安全技術に分けられます。

自動車事故の際、乗員の安全を守る衝突安全技術にはいくつかの要素がありますが、自動車エアバッグ、シートベルトはその中でも重要な位置を占めています。

このような環境の中、日本化薬は従来から培ってきた火薬の技術を応用し、エアバッグ用インフレーター、シートベルトプリテンショナー用および歩行者頭部保護を目的としたポップアップフード用マイクロガスジェネレータをグローバルに開発・製造・販売し、世界中の自動車の乗員の安全に貢献しています。

▶ セーフティシステムズ事業



火薬の技術により作動するエアバッグ

アグロ事業

ダイアジノン粒剤発売50周年

2014年、アグロ事業部の主力製品のひとつ、ダイアジノン粒剤※1が初めて農薬登録を取得してから50周年を迎えます。ダイアジノン粒剤は、「畑の常備薬」として、さまざまな農作物の害虫防除にご利用いただき、広く根強いご支持をいただいております。これを機にこれまでのご愛顧の感謝も込めまして記念キャンペーンを実施、拡販を図っています。

現在、ダイアジノン製品のラインアップは、主力の5%粒剤をはじめ、3%粒剤、10%粒剤、乳剤、水和剤、マイクロカプセル剤、エマルジョン剤と、使用場面に合わせて拡充されています。

これは、単なる「歴史」ではなく、長年培った防除技術や製剤技術が温故知新の精神として受け継がれ、近年、若返ったアグロ研究所の発想力との融合により、アグロ事業部の新製品創出の礎ともなっています。

農産物を病虫害・雑草から守り、生産者の労力を軽減する農薬、食物生産を助けるこれらの資材にも日本化薬グループの技術が活かされています。

▶ アグロ事業

※1【ダイアジノン粒剤】 カヤクダイアジノン粒剤3は、農林水産省登録 第6193号 昭和39年5月4日農薬登録を取得。現在は、ダイアジノン粒剤3（農林水産省登録 第7288号）と商品名を改めています。



研究開発

エレクトロニクス製品は、20世紀の社会の暮らしを飛躍的に豊かにしてきました。現在では、医療機器・パソコン・スマートフォンのように私たちの身の回りでなくてはならない存在になっています。これらエレクトロニクス製品のコアとなる材料がシリコンに代表される無機半導体です。



無機半導体

日本化薬では、無機半導体に代わる有機半導体の研究開発を行っています。有機半導体は、柔らかいエレクトロニクス製品を創出できるため、さまざまな製品（新しい豊かさを社会にもたらす製品）が提案されています。さらに、印刷で生産することも可能であるため、環境に優しく省エネルギーな半導体生産プロセスを作り上げることができます。有機半導体材料は、近未来のエレクトロニクス社会のキーマテリアルとして学术界・産業界から大きな期待が集まっています。

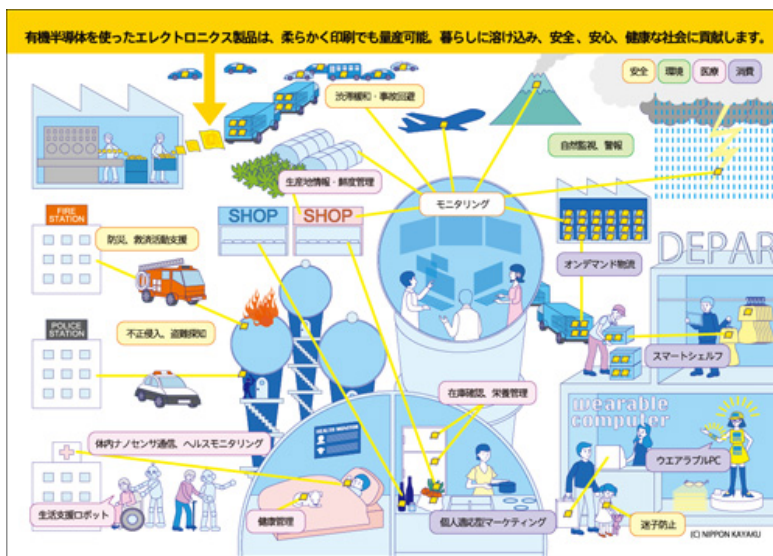


有機半導体

当社の有機半導体材料は、世界でもトップクラスの性能を有しており、国内外の先導的な研究機関との共同開発やNEDOの委託事業である「次世代プリントドエレクトロニクス技術研究組合（JAPER）」にも参画し、事業化を加速するために積極的な協業を行っています。

今後も、日本化薬では、近未来の社会ニーズに応える新規テーマを立ち上げ、計画的な事業展開を図り、持続的に社会貢献していきます。

▶ 研究所の概要



▶ イラスト拡大 

NEDOのバイオマスプロジェクトに参画

我が国の化学品の大半は石油由来の原料から製造されており、現状では石油消費量の約23%を原料として使用するなど化学産業は石油資源を大量に消費しています。

一方、世界的に石油消費量が拡大していく中、石油の価格上昇や枯渇リスク、CO2排出量の増大に伴う温暖化問題等の課題を乗り越えていくためには、非可食バイオマスの利用など、さまざまな非石油由来原料への転換が必要です。

独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）はコスト競争力のある非可食性バイオマスから最終化学品までの一貫製造プロセスを構築し、非可食バイオマス原料への転換を目指し、「非可食植物由来化学品製造プロセス技術開発プロジェクト」を開始しました。

当社は本プロジェクトに他の企業や研究機関と共同提案し採択され、2013年9月より研究をスタートしました。

本プロジェクトにおいて当社は、コア技術である樹脂合成・評価技術を駆使し、未利用の非可食バイオマスであるリグニンからエポキシ樹脂などの熱硬化樹脂を製造するプロセス開発に鋭意取り組みます。

経済的責任を果たすCSR活動

機能化学品事業

医薬事業

セイフティシステムズ事業

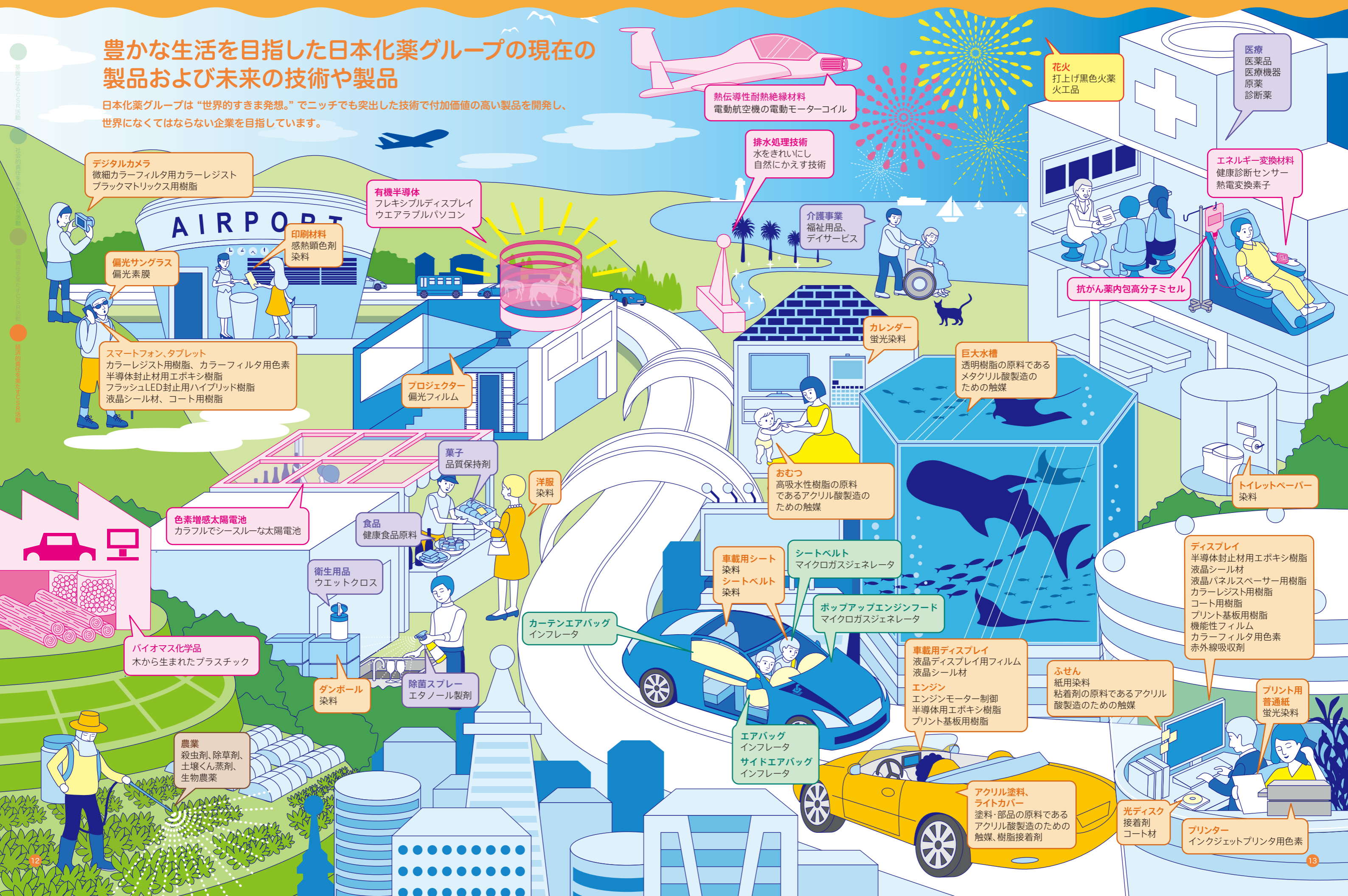
アグロ事業

その他

未来の技術や製品

豊かな生活を目指した日本化薬グループの現在の製品および未来の技術や製品

日本化薬グループは“世界的すきま発想。”でニッチでも突出した技術で付加価値の高い製品を開発し、世界になくはない企業を目指しています。



デジタルカメラ
微細カラーフィルタ用カラーレジスト
ブラックマトリックス用樹脂

偏光サングラス
偏光素膜

スマートフォン、タブレット
カラーレジスト用樹脂、カラーフィルタ用色素
半導体封止材用エポキシ樹脂
フラッシュLED封止用ハイブリッド樹脂
液晶シール材、コート用樹脂

有機半導体
フレキシブルディスプレイ
ウェアラブルパソコン

印刷材料
感熱顕色剤
染料

プロジェクター
偏光フィルム

色素増感太陽電池
カラフルでシースルーな太陽電池

食品
健康食品原料

衛生用品
ウエットクロス

バイオマス化学品
木から生まれたプラスチック

ダンボール
染料

除菌スプレー
エタノール製剤

農業
殺虫剤、除草剤、
土壌くん蒸剤、
生物農薬

菓子
品質保持剤

洋服
染料

カーテンエアバッグ
インフレーター

熱伝導性耐熱絶縁材料
電動航空機の電動モーターコイル

排水処理技術
水をきれいにし
自然にかえす技術

介護事業
福祉用品、
デイサービス

カレンダー
蛍光染料

おむつ
高吸水性樹脂の原料
であるアクリル酸製造の
ための触媒

車載用シート
染料
シートベルト
染料

シートベルト
マイクロガスジェネレータ

ポップアップエンジンフード
マイクロガスジェネレータ

エアバッグ
インフレーター
サイドエアバッグ
インフレーター

車載用ディスプレイ
液晶ディスプレイ用フィルム
液晶シール材
エンジン
エンジンモーター制御
半導体用エポキシ樹脂
プリント基板用樹脂

ふせん
紙用染料
粘着剤の原料であるアクリル
酸製造のための触媒

**アクリル塗料、
ライトカバー**
塗料・部品の原料である
アクリル酸製造のための
触媒、樹脂接着剤

光ディスク
接着剤
コート材

プリンター
インクジェットプリンタ用色素

花火
打上げ黒色火薬
火工品

医療
医薬品
医療機器
原薬
診断薬

エネルギー変換材料
健康診断センサー
熱電変換素子

抗がん薬内包高分子ミセル

トイレトペーパー
染料

ディスプレイ
半導体封止材用エポキシ樹脂
液晶シール材
液晶パネルスペーサー用樹脂
カラーレジスト用樹脂
コート用樹脂
プリント基板用樹脂
機能性フィルム
カラーフィルタ用色素
赤外線吸収剤

**プリント用
普通紙**
蛍光染料

有機半導体を使ったエレクトロニクス製品は、柔らかく印刷でも量産可能。暮らしに溶け込み、安全、安心、健康な社会に貢献します。

